篆画早手本　上

278

麁画圖意

此冊子中何れの圖せしと問ハ人とをうれふ翁あそびてうらず。或人嘆り

その圖いかにおぼえしとて書おくるまゝよく絲でうらまき

ふせり。さるごろ喜ヶ翁の筆のうらん見る太名のまゝ

或如麁画ハ人のうらの畫ハそと。凡人其よ。待有に佐庭乃

圖のうらうし。ご事さぶうれおぼえずれ

物川

おゆきさんしなぜそのやうまふらんまでうちらもゆそてゝへて佐らんといつて繁をうさそうのうどおぼえし

ゆきゝ

雛鶏を　雛ハとほらぬ　桐の鶏　とらへ鳥白のうらうれ

桐に鶏

風れ吹ぐしふゞであまつのし　花見舟といそぐ船よ帆をあげて

花見舟

いわしをおもしろさ。むしき絶ともいつてやうやんどときおゝうよハむしくさ武蔵ゝとなんさうきゝしとの。まなしよひらく見し圖かうべし

むしきゝ

754.7
S72

From Hull
1051(?)

$2.60

七

玉づさ

人のなさけハ穴までそあまた
玉づさ銭もらひねずみまでこれなり

ひる寝(ね)

これ人のひる寝のまくらや　秋の月

手(て)剃(ぞり)

弟子(でし)とらぬ坊主(ぼうず)ハいつも手(て)剃(ぞり)にて
毛(け)のあるなしを我さぐりてぞ しるとのいひなりし

こたつ

としよりでへのこともまあくるりにかけのこと さ
若きもの されたうじうきどうりまた 狂言なりとかは
きもちぐつしろぶらし 翁(おきな)が顔(かお)もなからまし

長(なが)寿(いき)

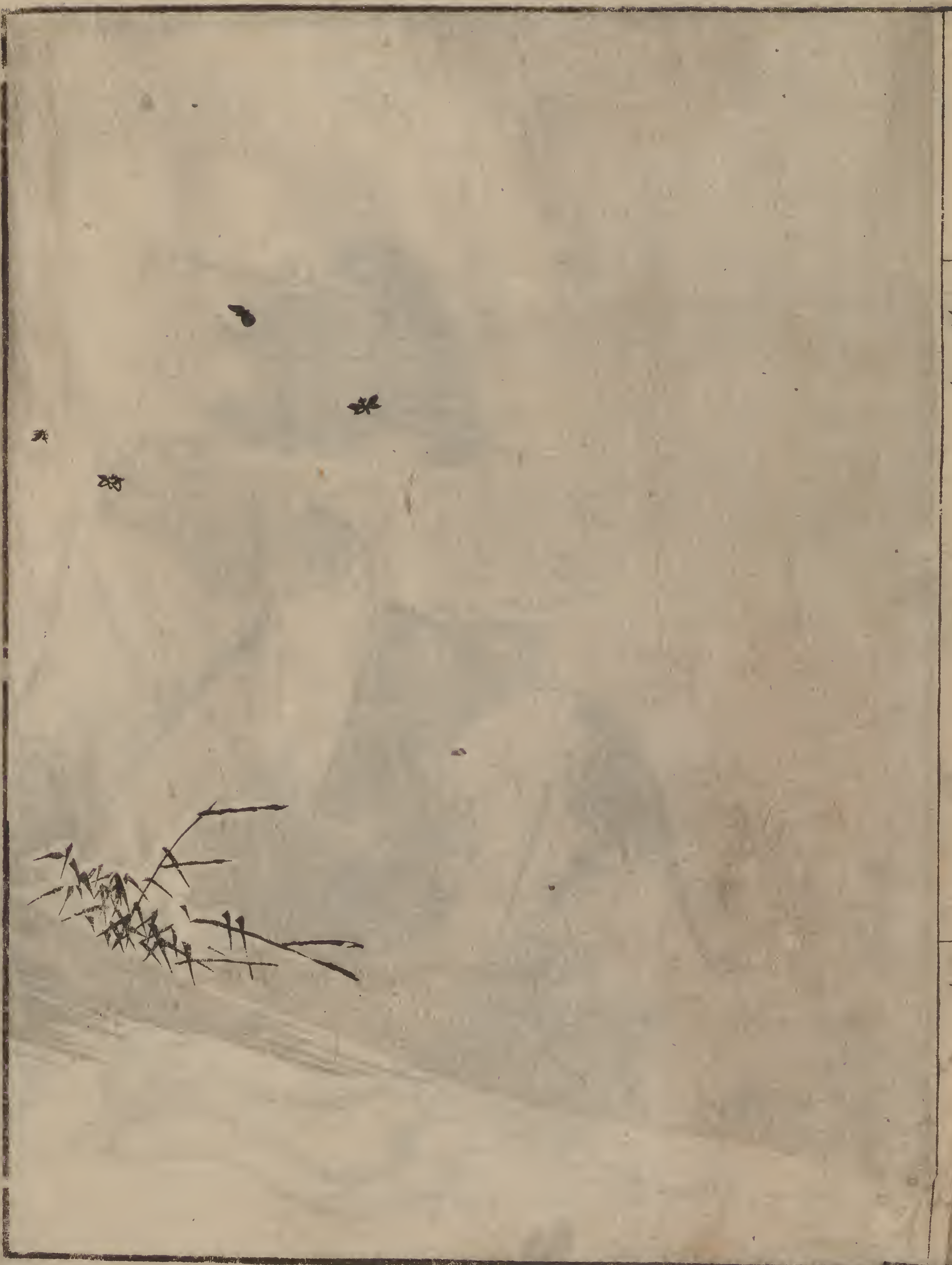
長寿八千歳の下まで おもて 異は下一寸あまりバ百歳 二寸二百歳と
いつる銭 寿(ことぶき) 元(げん)服(ぷく)してより二人大に笑ひたるまま 銭ハつねに
とりかさなりて八九千歳なりし 東方朔(とうぼうさく)のハ いつもなく人とこそしれ

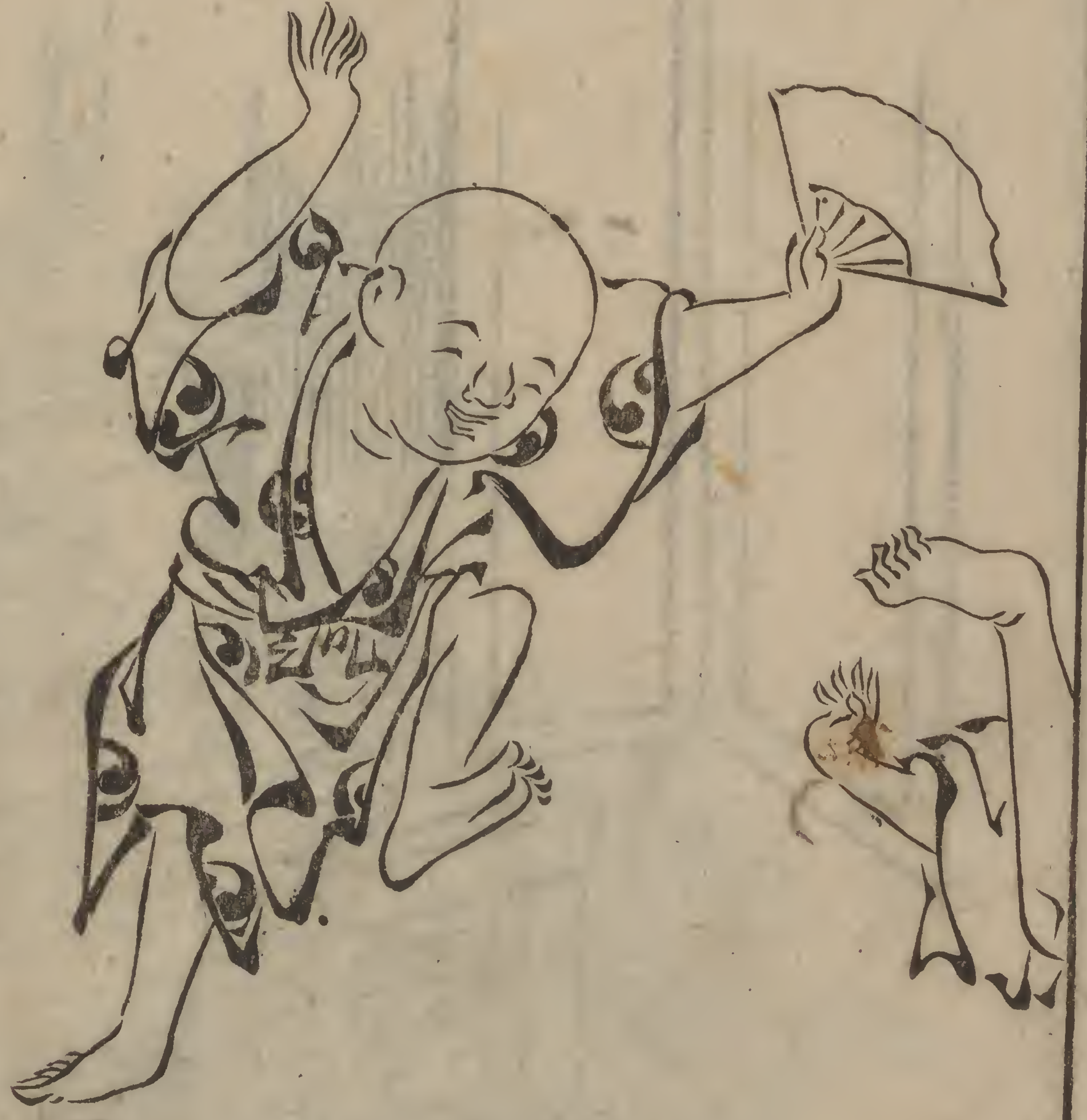
船(ふな)いくさ

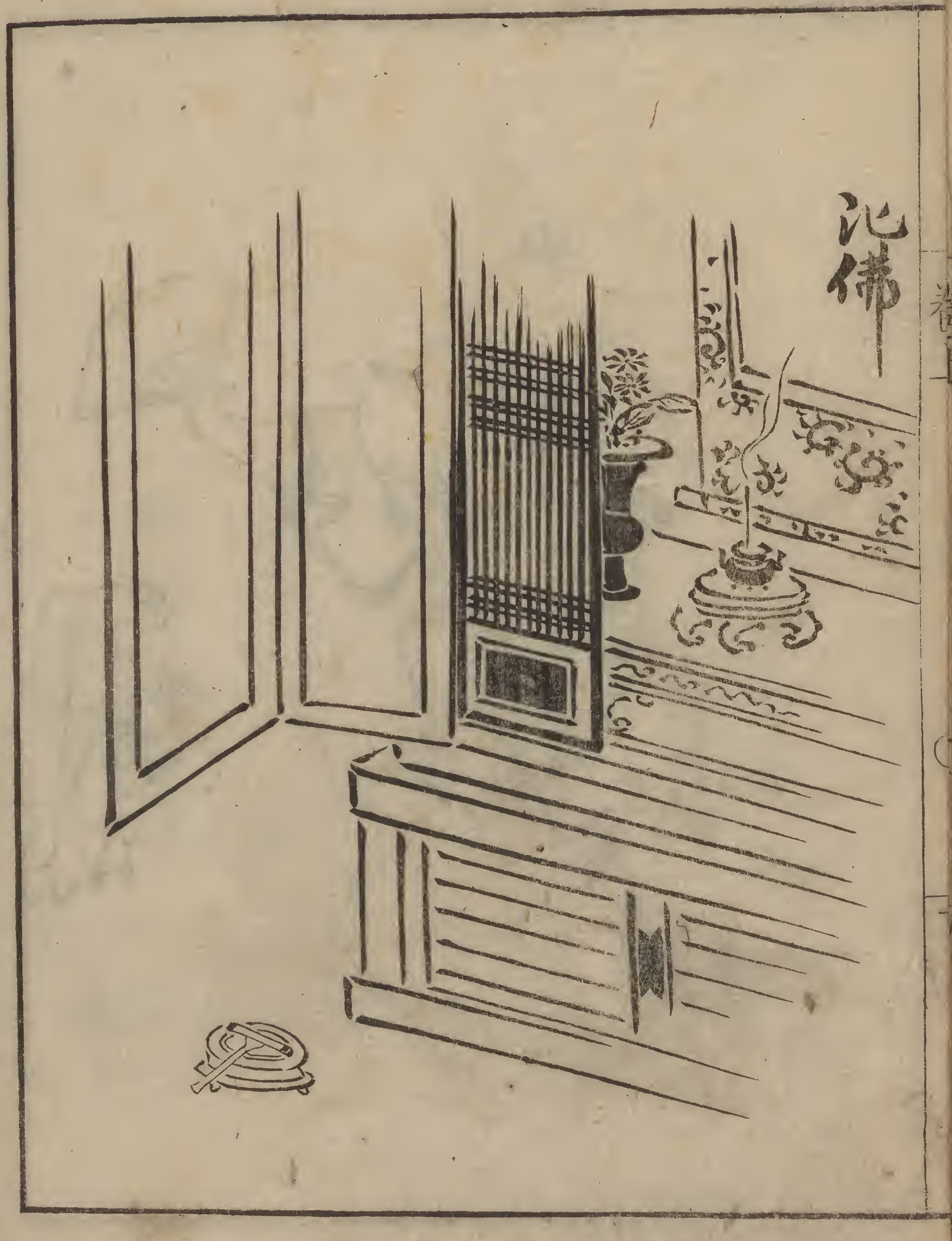
ちとのわくらい 艫(とも)まで 親(おや)ハこれなり
さぐりや舳(へ)の子(こ)乃つれ かるしんと 尾(び)…
なりけりし さても 尾(び)…なりけりや

瓜(うり)うり

うり売(うり)が瓜(うり)ふりうりまうりにきて
うりのこし瓜(うり)をかついで売(うり)といふなし






汜佛